

# 株主通信

Vol.14 2010年3月期 第2四半期のご報告  
2009年4月1日～2009年9月30日



## New Innovative Wave

「これからの医療」のために。



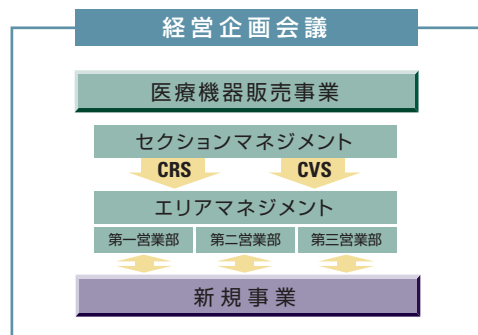
株式会社 ウィン・インターナショナル

**JASDAQ** 証券コード:2744

# P rofile

## 私たちは、 新しい医療周辺 ビジネスの構築を 目指す会社です。

私たちウイン・インターナショナルの存在意義は、  
医療分野において優れた商品及びサービスを、  
従来にはない方法で安定的に提供することです。  
そして、医療分野の発展に継続的に寄与し、  
国民の健康及び医療に貢献していきます。



経営企画会議を情報共有の基点として当社の主力事業である消耗品関連の医療機器販売事業は、担当エリアにおける特性に合わせて機動的な営業を行うためのエリアマネジメント（第一営業部から第三営業部）及び専門分野における営業活動を柔軟に行うためのセクションマネジメント（心臓律動管理のCRS、心臓外科のCVS）により推進しております。新規事業部は新規顧客開拓のツール開発、大型医療機器販売を行っており、各営業部との連携を図って案件獲得を目指しています。

### ● 財務ハイライト

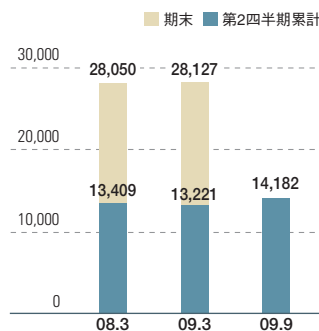
(百万円)

	2008/9 前第2四半期	2009/3 前期	2009/9 当第2四半期
売上高	13,221	28,127	14,182
営業利益	478	1,287	673
経常利益	482	1,293	678
四半期(当期)純利益	342	820	388
総資産	12,836	13,641	13,905
純資産	5,105	5,433	5,648
自己資本比率(%)	39.8	39.8	40.6
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	27.10	65.20	31.57
1株当たり期末配当金(円)	—	16.4	—

※当社は、2009年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式を分割しております。  
「1株当たり四半期(当期)純利益」「1株当たり期末配当金」の数値は、前年度にさかのぼって算出したものです。

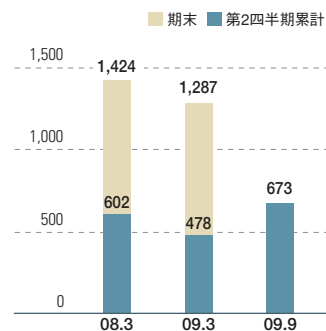
### ● 売上高

(百万円)



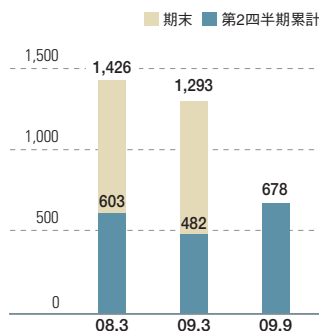
### ● 営業利益

(百万円)



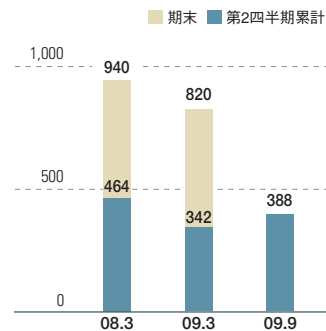
### ● 経常利益

(百万円)



### ● 四半期(当期)純利益

(百万円)





株式会社ウイン・インターナショナル  
代表取締役社長 秋沢 英海

上期は売上が伸長し、好調に推移。

下期も引き続き積極的に事業活動を展開していきます。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第27期(2010年3月期)第2四半期株主通信をお届けいたします。

第27期は、景気が停滞する中、医療機関においても財政悪化を背景としてコスト削減が進み、比較的大規模な医療機関の設備・機能拡充による症例増加に対して、縮小・閉鎖に至る医療機関の増加という2極分化も進行しつつあります。

こうした市場環境のもと、当社では着実に事業活動を展開し、第27期上期は期初に計画した業績予想に対して十分な成果をご報告することができました。

下期はさらに積極的に業容拡大に努め、予想を上回る業績を確実に達成すべく邁進してまいりますので、なお一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

### 第27期上期は、具体的にどのような施策や事業活動を実施されましたか。

上期においては、大学病院及びグループ病院の取引拡大を目指して、きめ細かな営業活動及び交渉を重ねております。

消耗品領域につきましては、顧客医療機関における症例数が増えておりますので、販売数量もそれに合わせて伸びております。加えて上期は、既存の顧客医療機関においては他科に対しても積極的な営業活動を行いました。その結果、下肢、頭頸部、腹部、さらには心臓血管に関する新たな手技といった商品領域の拡大を進めることができました。また一括購入の実施による利益率の改善、拡大戦略を支えるための営業部門増員と研修に注力いたしました。その他の領域につきましては、新規事業部と消耗品を扱う営業部との連携を強化し、案件の取りこぼし防止と深掘りに努めた結果、病院新築案件の大型医療機器販売を取り扱うことができました。

また、内部統制の面では、与信管理制度の再構築、内部通報制度の強化を図っております。

### 第27期のテーマは、戦略的交渉と徹底した在庫管理による安全性の確保と適正利潤追求ですが、その進捗状況はいかがですか。

戦略的交渉については、積極的に一括購入を実施し、レポートプログラムについても細かく踏み込んだ設定を行うなど、利益率の向上に効果を上げています。

また在庫についても順調に消化しており、それにより新たな一括購入を行うといった好循環となっています。案件によっては下期に計上されるものもありますので、期末に向けて順調に成果が表れてくるものと考えています。

全国展開に伴って営業部門を増員増強しておられますが、各営業所の活動状況や成果などを具体的にお聞かせください。

前期は第二営業部の増員増強に注力したことで、西日本エリアの3営業所(大阪、高松、福岡)の体制が整い、現在、既存顧客の売上伸長が顕著になるなど順調に事業活動を展開しております。来期あたりに成果が見えてきた時点で、中期的な戦略を再考する予定です。

当期は、顧客数が多い関東エリアをカバーする第一営業部、第三営業部の増員増強に力を入れています。最近ではメディアに病院やドクターが登場することが増え、医療機関に関する設備・症例数・技術の情報が一般化しています。そのため、患者数が集中する医療機関とそうでないところの2極分化が進み、特に関東エリアではその傾向が顕著で、当社の顧客の多くは患者が集中する医療機関です。当社の高い専門性を活かした営業力と医療機関の経営健全化にも踏み込んだ提案型営業が、医療機関の適正利潤追求に貢献し、高い評価をいただいています。

営業部門強化の基本となる人材確保と教育研修についてお聞かせください。

当社では4年ほど前から継続的に大幅増員施策をとっており、中途採用を活発化させています。不況下にある今は人材獲得の好機と捉えており、この機に営業職の10~15%の増員を図る計画です。

あわせて、運用フェーズ2年目に入った内部統制システムを活かして、明確化した社内・業界ルールの教育訓練を強化し、中途採用者の戦力化の期間短縮を行っています。また教育研修による高度な専門知識の習得にも努めています。

当初の中途採用者が、いまや中堅の教育担当として力を発揮し、人材マネジメントにおいては競合他社にない戦略で成果を出していると自負しております。

ただ、中途採用者は、一度社会に出て、それぞれの立場でキャリアを積んできています。そこで、当社の仕事に必要な知識やスキルをただ習得させるのではなく、当社の社員として「期待さ

れる人物像」を明確に打ち出し、イメージをもってもらうことで教育・研修の効果を一層高めていくことも必要かと考えています。

下期及び通期の業績見通しについてお聞かせください。

ご報告したとおり、上期は期初計画を上回る好調な推移で終了いたしました。下期は、新製品が市場投入されますので、その動向を見極める必要があるものの大きな動きにはならないと予測されます。また、上期末の政権交代が下期以降の医療・社会保険行政に及ぼす影響については概ねプラスに捉えております。

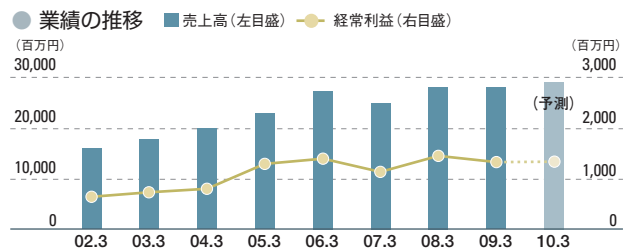
従って、下期も業績順調の趨勢に変化はないと考えておりますので、計画値の達成と業績向上に向けてこのまま邁進してまいります。

最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

当社は、医療機器販売事業を通じて、日本の医療に「安全・安心・信頼」を提供し続ける企業です。株主の皆様にもそうした当社の姿勢をご理解いただけるよう、事業状況や経営情報などの適時開示、株主還元を重視した経営を行っております。

また当期は、株主の皆様のご期待にお応えすべく、配当性向を従来の25%以上から35%以上へと変更いたしました。

今後も現状に甘んじることなく、着実に成長を続けてまいりますので、株主の皆様には、なお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## ■ 事業環境

上期における医療業界は、医療費抑制を目的とする近年の医療制度改革の影響により、引き続き厳しい経営環境が続いております。医療機関においては、財政悪化からコスト削減に踏み切らざるを得ない環境になっており、納入業者に対する値下げ圧力が高まる傾向にある一方、比較的大規模な医療機関において、分院開設や設備の更新による機能強化により、

症例数のさらなる増加を目指すケースも見られる状況となっております。当社をはじめとする医療機器販売業者は、こうした顧客の置かれた環境を的確に把握し、ニーズに即した質の高いサービスを提供することが求められております。

このような状況のもと、当社は低侵襲治療と心臓治療というコアビジネスを軸に、業容拡大に努めました。

### 98.4% 消耗品関連

新規顧客の獲得を目指すとともに、既存顧客に対しても患者数の増加策を提案し、また従来取引のなかった診療科目にも積極的に営業を行うことで、販売数量を増加させることに注力いたしました。その結果、主力の薬剤溶出ステント(DES)やPTCAバルーンカテーテル等の心臓カテーテル類の販売数量が伸びたほか、ペースメーカーや植込み型除細動器(ICD)等のCRM(心臓律動管理)関連商品の販売が、特に好調に推移いたしました。

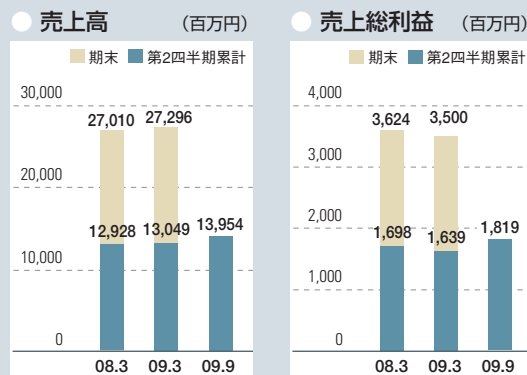
これにより、上期の売上高は13,954百万円(前年同期比6.9%増加)となりました。売上総利益については、仕入先との仕切価格交渉や、目標販売数量等を設定した上でのリベートプログラムの成果等により売上総利益率が前年同四半期比0.4ポイント改善して13.0%となったことから、1,819百万円(前年同期比11.0%増加)となりました。

### 1.6% その他

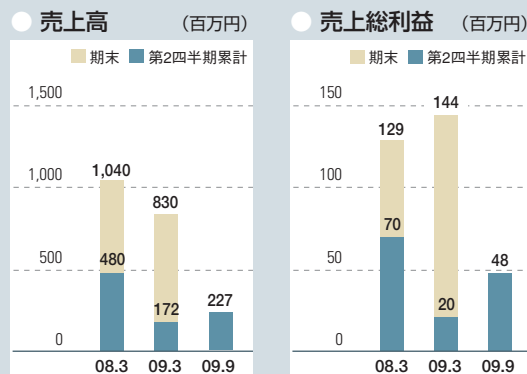
消耗品関連の営業部門との連携を強化し、医療設備建築や大型医療機器販売案件に関する情報を迅速かつ正確に把握することで、消耗品ビジネスと一体になった営業活動に注力いたしました。

この結果、上期の売上高は227百万円(前年同期比32.1%増加)、売上総利益は48百万円(前年同期比132.8%増加)となりました。

### 消耗品関連



### その他

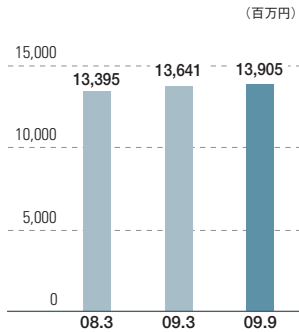


## 四半期貸借対照表(要旨)

期別	(千円)		
	当第2四半期末	前期末	増減
	2009年9月30日現在	2009年3月31日現在	(△印は減)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	<b>12,210,738</b>	<b>11,973,465</b>	<b>237,272</b>
現金及び預金	3,088,341	2,623,661	
受取手形及び売掛金	7,566,502	8,142,265	
商品	1,317,096	996,782	
その他	238,797	210,756	
<b>固定資産</b>	<b>1,694,410</b>	<b>1,668,201</b>	<b>26,208</b>
有形固定資産	1,108,635	1,119,478	
無形固定資産	150,485	177,333	
投資その他の資産	435,289	371,390	
<b>資産合計</b>	<b>13,905,148</b>	<b>13,641,667</b>	<b>263,481</b>

期別	(千円)		
	当第2四半期末	前期末	増減
	2009年9月30日現在	2009年3月31日現在	(△印は減)
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	<b>7,948,885</b>	<b>7,866,616</b>	<b>82,268</b>
支払手形及び買掛金	7,377,916	7,240,106	
1年内返済予定の長期借入金	79,200	79,200	
未払法人税等	295,864	357,191	
賞与引当金	97,768	93,869	
その他	98,136	96,249	
<b>固定負債</b>	<b>308,085</b>	<b>341,335</b>	<b>△ 33,249</b>
長期借入金	153,200	192,800	
退職給付引当金	154,885	148,535	
<b>負債合計</b>	<b>8,256,970</b>	<b>8,207,952</b>	<b>49,018</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	<b>5,596,288</b>	<b>5,409,728</b>	
資本金	330,625	330,625	
資本剰余金	196,875	196,875	
利益剰余金	5,068,812	4,882,228	
自己株式	△ 24	—	
評価・換算差額等	51,889	23,986	
<b>純資産合計</b>	<b>5,648,177</b>	<b>5,433,715</b>	<b>214,462</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,905,148</b>	<b>13,641,667</b>	<b>263,481</b>

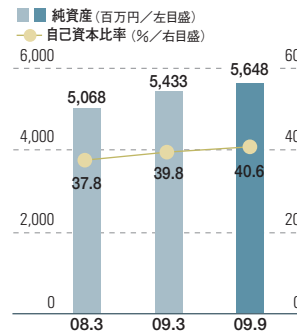
● 総資産



Point

総資産は、前期末と比較して263百万円増加して13,905百万円となりました。これは、利益率改善を目的として当第2四半期末に商品の一括購入を行ったことにより商品が320百万円増加したこと等によるものであります。

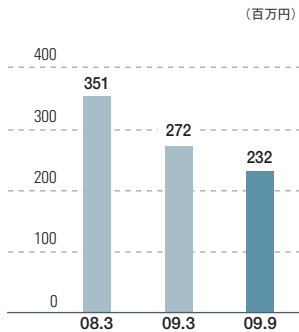
● 純資産／自己資本比率



Point

純資産は、前期末と比較して214百万円増加して5,648百万円となりました。これは、配当金の支払いにより201百万円減少したものの、当第2四半期純利益による388百万円の増加があったこと等によるものであります。

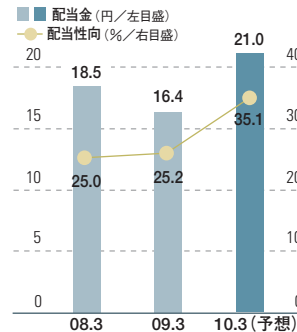
● 有利子負債



Point

前期に引き続き、有利子負債削減を進めた結果、当第2四半期末借入金は前期末より39百万円減少しております。

● 配当金／配当性向



Point

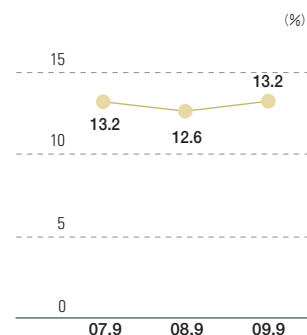
当社は、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主各位に対して適正な利益還元を行うため、配当性向を35%以上とすることを基本方針としております。上記方針のもと、当期(2010年3月期)の期末配当(年間)につきましては1株当たり21.0円(配当性向35.1%)を予定しております。

※当社は、2009年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式を分割しております。08.3、09.3の「配当金」の数値はさかのぼって算出したものです。

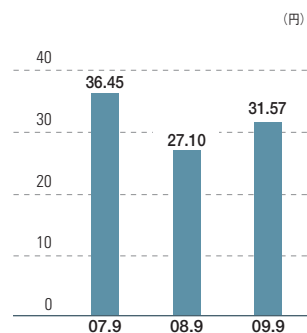
## 四半期損益計算書(要旨)

期別	(千円)		
	当第2四半期累計 2009年4月1日から2009年9月30日まで	前第2四半期累計 2008年4月1日から2008年9月30日まで	増減 (△印は減)
売上高	14,182,054	13,221,489	960,564
売上原価	12,313,496	11,560,889	
売上総利益	1,868,558	1,660,600	
販売費及び一般管理費	1,195,199	1,182,083	
営業利益	673,358	478,517	194,841
営業外収益	7,234	7,003	
営業外費用	2,353	3,208	
経常利益	678,239	482,312	195,926
特別利益	—	116,020	
特別損失	—	1,406	
税引前四半期純利益	678,239	596,927	81,311
法人税等	289,879	254,774	
四半期純利益	388,359	342,152	46,207

## ● 売上総利益率



## ● 1株当たり四半期純利益



※当社は、2009年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式を分割しております。07.9、08.9の「1株当たり四半期純利益」の数値はさかのぼって算出したものです。

## Point

当第2四半期(累計)における当社全体の売上高は14,182百万円(前年同期比7.3%増加)、経常利益は678百万円(前年同期比40.6%増加)、四半期純利益は388百万円(前年同期比13.5%増加)となりました。増収効果による増益に加え、売上総利益率の改善等により経常利益及び四半期純利益は前年同四半期を大きく上回っております。



## 四半期キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(千円)

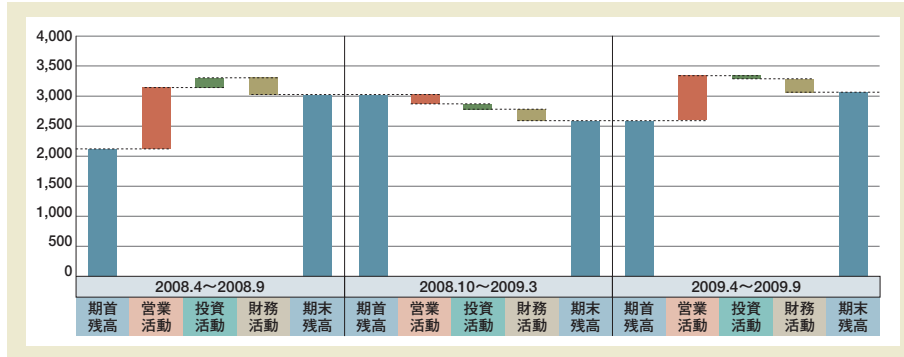
期別	当第2四半期累計	前第2四半期累計	増減
	2009年4月1日から2009年9月30日まで	2008年4月1日から2008年9月30日まで	(△印は減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	762,512	1,022,170	△ 259,657
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 56,432	151,891	△ 208,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 241,400	△ 270,503	29,102
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額	464,680	903,559	△ 438,879
現金及び現金同等物の期首残高	2,623,661	2,122,626	501,034
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,088,341	3,026,186	62,155

### Point

営業活動によるキャッシュ・フローは、純粋な営業活動において得られた収入が1,117百万円(前年同期は1,530百万円の収入)ある一方、法人税等を357百万円支払ったこと(前年同期は508百万円の支払)等により、762百万円の収入(前年同期は1,022百万円の収入)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得により33百万円の支出(前年同期は4百万円の支出)があったことや有形固定資産取得のため12百万円の支出(前年同期は39百万円の支出)があったこと等により、56百万円の支出(前年同期は151百万円の収入)となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金を201百万円支払ったこと(前年同期は233百万円の支払)や長期借入金を39百万円返済したこと(前年同期は39百万円の返済)等により、241百万円の支出(前年同期は270百万円の支出)となりました。

## グラフで見るキャッシュ・フローの推移

(百万円)



IRサイトのご案内

当社のさらに詳しい情報についてはHPをご覧ください。

<http://www.win-int.co.jp/>

■ お問い合わせ 経営管理部 / 03-5688-0878

ウイン・インターナショナルのホームページはIR・財務情報に加え、皆様に当社の事業内容をより深くご理解いただけるよう最新ニュースや事業案内を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



## ■ 会社概要 (2009年9月30日現在)

社 名 株式会社ウイン・インターナショナル  
 英 文 社 名 WIN INTERNATIONAL CO., LTD.  
 事 業 内 容 医療機器販売事業  
 本 社 東京都台東区台東四丁目24番8号  
 主 な 拠 点 東京、千葉、埼玉、神奈川、福島、大阪、香川、福岡  
 設 立 年 月 日 1983年6月1日  
 資 本 金 330,625千円  
 従 業 員 数 227名

## ■ 株式の状況 (2009年9月30日現在)

発行可能株式総数 47,000,000株  
 発行済株式の総数 12,303,400株  
 大株主

株主名	期末持株数 (株)	議決権比率 (%)
秋沢 英海	4,102,200	33.34
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	6.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	400,000	3.25
古川 國久	400,000	3.25
メロンバンクエヌイーティークライアントオムニバス	325,212	2.64
日本生命保険相互会社	250,000	2.03
三田上 浩美	201,200	1.63
第一生命保険相互会社	200,000	1.62
鴫田 金光	200,000	1.62
伊藤 成幸	200,000	1.62

株主数 3,061名  
 上場金融商品取引所 ジャスダック証券取引所(証券コード:2744)  
 IRのお問い合わせ先 経営管理部/TEL 03-5688-0878  
 URL <http://www.win-int.co.jp/>

## ■ 取締役、監査役、会計監査人 (2009年9月30日現在)

代 表 取 締 役 秋沢 英海  
 取 締 役 三田上 浩美  
 取 締 役 平能 直弘  
 取 締 役 杉原 庸介  
 監 査 役 卜部 容志孝  
 監 査 役 神田 安積  
 監 査 役 菊地 康夫  
 補 欠 監 査 役 大友 良浩  
 会 計 監 査 人 あずさ監査法人

## ■ 株主メモ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定 時 株 主 総 会 毎年6月  
 基 準 日 定時株主総会 3月31日  
 期末配当金 3月31日  
 その他必要があるときは、  
 あらかじめ公告いたします。

公 告 方 法 電子公告  
 やむを得ない事由により  
 電子公告によることができない場合は  
 日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 (特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社

事 務 取 扱 場 所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081

連 絡 先 ・ 送 付 先 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話0120-232-711(フリーダイヤル)

※株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種  
 お手続につきましては、原則として口座を開設されている口座管  
 理機関(証券会社等)で承ることとなっております。

## 株主通信 Vol.13の アンケート結果

アンケート調査に多くの回答と  
温かいメッセージをいただき、  
ありがとうございました。  
アンケートの結果を下記に  
掲載させていただきますので  
ご参照ください。

### あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。

(複数回答可/%)



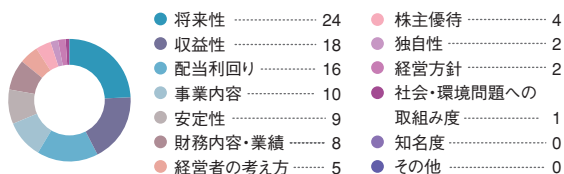
### あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

(%)



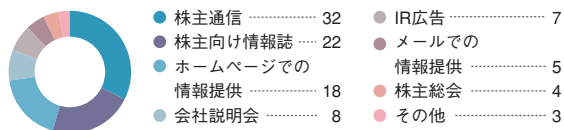
### あなたが当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。

(複数回答可/%)



### あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。

(複数回答可/%)



今後も株主の皆様からのご意見には真摯に耳を傾け、  
当社ビジネスを一層発展させるための糧とさせていただきます。

## 株主の皆様へのアンケートのお願い

当社では、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、  
アンケートを実施させていただいております。  
なお、従来のハガキによるご回答に加えてインターネットからも  
ご回答いただけます。  
お手数ではございますが、ご協力の程、よろしくお願いたします。

インターネットをご利用いただけない株主様は、  
こちらのハガキをご利用ください。

該当する項目の番号に○を付けてください。

特に指定のないもの以外は「1つだけ」お選びください。

問1 あなたが投資先を検討する際、よく利用する情報源をお知らせください。(3つまで)

①新聞 ②会社四季報・日経会社情報 ③経済誌・投資情報誌 ④アナリストレポート  
⑤証券会社の営業員 ⑥一般株式情報サイトやメールマガジン ⑦企業のホームページ  
⑧会社説明会 ⑨その他

問2 あなたは当社の株式を購入する際、社名をどこでお知りになりましたか。

①TV・新聞・雑誌など ②インターネット ③会社四季報・日経会社情報 ④アナリストレポート  
⑤証券会社の紹介 ⑥知人の紹介 ⑦以前から知っていた ⑧その他

問3 あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。(いくつでも)

①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針  
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り  
⑫証券会社の勧め ⑬その他

問4 あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

①買い増し ②長期保有 ③売却 ④未定

問5 あなたが当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。

(3つまで)

①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針  
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り  
⑫株主優待 ⑬その他

問6 あなたは当社のIR活動に満足していますか。

①満足している ②普通 ③不満である

問7 あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。(いくつでも)

①ホームページでの情報提供 ②メールでの情報提供 ③会社説明会 ④株主総会  
⑤株主通信 ⑥株主向け情報誌 ⑦IR広告 ⑧その他

問8 当社の株主通信について、情報量はいかがですか。

①多すぎる ②ちょうど良い ③少なすぎる

問9 当社の株主通信について、わかりやすさはいかがですか。

①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい

問10 当社の株主通信について、読みやすさはいかがですか。

①読みやすい ②普通 ③読みにくい

その他ご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

# アンケートはインターネットから ご回答いただけます。

インターネットをご利用いただけない株主様は、  
こちらのハガキをご利用ください。



差出有効期間  
平成22年3月  
31日まで  
切手はいりません

郵便はがき  
1 1 0 8 7 9 0

220

東京都台東区台東四丁目24番8号

株式会社ウイン・インターナショナル  
経営管理部 行



性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 29歳以下 <input type="checkbox"/> 30～39歳 <input type="checkbox"/> 40～49歳 <input type="checkbox"/> 50～59歳 <input type="checkbox"/> 60～69歳 <input type="checkbox"/> 70歳以上
お住まいの都道府県	
ご職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 公務員・非営利団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト・フリーター <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職・定年退職 <input type="checkbox"/> その他
株式投資歴	<input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1～2年未満 <input type="checkbox"/> 2～5年未満 <input type="checkbox"/> 5～10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上

株主様向け  
アンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 2744

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本誌がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

インターネットでご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30)「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



株式会社 ウイン・インターナショナル

〒110-8558 東京都台東区台東四丁目24番8号

TEL.03-5688-0878

<http://www.win-int.co.jp/>



本誌は、環境に優しい大豆油インキを使用して印刷しています。